

こども食堂って何？

「おおたラーメンこども食堂」

本羽田一丁目町会会館で毎月一、数回、晩御飯にラーメンを食べて交流するスタイルのこども食堂を開催しています。「大田区長期休暇中のこどもの居場所作り事業」にも貢献。始まりは二〇一八年春、町会役員・地区担当民生委員児童委員・出雲小学校お話し会ボランティアの有志で担っています。

こどもと子育て世帯を中心に、地域のどなたでも参加歓迎です。コロナ禍では地域の絆がセーフティネットになりました。感染症対策のため会食の代わりにお弁当や食材の提供も実施しています。自主活動の範囲で非常時のフードバンクの役割も担ってきました。大田区社会福祉協議会、大田区福祉管理課と連携し、事業保険とボランティア保険の加入や助成金と補助金の支援を受けながら、地域のボランティアの皆さんで運営しています。現在は支援を必要とする人が増加、担い手と資金不足なので地域の皆様の御協力をお願いいたします。

（おおたラーメンこども食堂）

代表 武井

「こども食堂ってご存知ですか？」

「こども食堂」は子どもが一人でも安心して行ける、無料または低額で食事ができる場所のことです。食事だけでなく、学習支援や居場所、地域の大人との交流の場としても注目されており、全国で一万軒を超えました。

「羽田のこのこ食堂」はオープンしてから一年半、六千食を超える食事の提供や学習支援・バザーなどを行ってきました。

今年度は夏休みには五百七十七人、冬休みには百十七人の子どもたちに食事や宿題支援・社会科見学・体験講座・書初め支援などに参加していただき、楽しく過ごすことができました。

秋中商店街に面していることもあり地域の皆さまの善意や情報が集まる拠点として、子どもたちや子育て世帯を応援できる場所を目指して運営しています。

これからも子どもたちに地域の皆さんの温かさを届けていきたいと思っています。

「羽田のこのこ食堂」日替わり定食が高校生以下百円です。

（羽田のこのこ食堂）代表 渡司



「仲七 cafe」

こども食堂はじめました！」

仲七 cafe は羽田仲七町会会館をお借りして、二〇二四年五月からボランティアで地域の居場所作りになれたらと実施しております。

地域交流会は老若男女問わず地域の方々と一緒に昼食を食べながらものづくりをし、小さいお子様のいる方には出来る限りボランティアスタッフがお子様と携わり、ママがゆっくりお話しをしたりホッと一息つけるような場になれたらと、不定期ですが月一回水曜日に活動しております。

こども食堂ではお子様のいる世帯のご家族様を対象にお弁当の提供しております。色んな方とお話をしながら一緒にいただきます！美味しかったです！また来るねー！の声に支えられております。不定期月一回土曜日に実施しております。

詳細はSNS等に掲示しております。

二〇二五年三月まではお弁当での提供ですが手作りのご飯を食べていただきたい！の想いから二〇二五年四月からはボランティアスタッフの方々と手作りご飯での提供を予定しております。是非遊びにいらしてください。

（仲七 cafe）代表 氏江



三十年の重みを感じて

三十年は研究者が研究を始めて、定年を迎えるくらいの長さに相当すると、国立天文台の本間希樹先生は仰いました。それだけ大きな区切りを羽田図書館は迎えたということに、身が引き締まる思いが致します。

二〇二四年十二月十五日をもって、羽田図書館は開館三十年を無事に迎えることができました。これは偏に地域や町内会の皆様、ボランティアの方々、様々な方のお力添えがあったことだと思っております。改めて、日々のご協力、ご愛顧に感謝致します。三十周年のお祝いと、皆様に感謝の意を表するために、当日には「羽田図書館三十周年誕生祭」を開催致しました。その様子を少しお話したいと思います。

まず、十二月に入り七日には前述の本間先生にお越しいただき、講演会を開催することが出来ました。世界で初めてブラックホール影の撮影に成功した日本代表として、最新の研究のお話、岩手水沢でのお仕事についてとても興味深いお話を伺うことが出来ました。ブラックホールはドーナツのように見えるけれど、本来は中心が大切なので、いちご大福に近いなど、とても楽しい例えで難しい天文学のお話をかみ砕いて説明して下さいました。これから動画での撮影を目指されること、人工衛星に電波望遠鏡を乗せて撮影

に挑む計画があることなど、今後の展望にも興味は尽きません。三十周年ということので、快く講演を引き受けて下さった本間先生には心から感謝申し上げます。今後も図書館として研究の進展を見守っていただければと思っております。

当日は、クラリネット・アンサンブル・エレガントさんによる朝のファンファーレから始まりました。続いて、お世話になっていた大鳥居町会会長平林様のご祝辞、くす玉割り続き、列席して下さった方からもお祝いのお言葉を賜りました。様々なところから駆けつけて下さった方々には感謝の気持ちで一杯になりました。改めて三十年の大切な絆を感じた次第です。

その後、エレガントさんにはクラリネットのコンサートで盛り上げていただきました。華のある演奏を皆様と共有出来ましたことは、とても良い思い出となりました。

午後はお楽しみの寄席、紙芝居のコラボレーションです。記念の寄席ですので、以前に登壇して下さったお気楽長屋の皆様、古今亭今いちさんをお呼びして、笑いの絶えない時間となりました。今いちさんは学生のころから「はねだ寄席」に参加してくださった、いわば羽田図書館の一員とも言える方です。プロの囃家になられて、図書館に戻ってきてく

☆ 編集後記 ☆

暖かな季節になりました。身体を動かしてみようと思いついたウオーキングに出掛けてみました。

羽田地区には、とても良い遊歩道がありますので、私は家から近いソラムナードに行き、空港へ向かい歩きました。頭上に飛行機が通り過ぎ海の方には魚釣りをしている人々が居たりするのは、羽田ならではの風景だと思いがたスカイブリッジの途中まで行くときれいな富士山が見えてとても幸せな気分になりました。夕陽に染まる富士山も綺麗ですので皆さんも出掛けてみて下さい。

これからもはばたき20をよろしく願います。

（はばたき20編集委員 橋立智子）

一月三十一日に、はばたき20の新年会を行いました。日頃、はばたき20でお世話になっている方々も参加していただきました。今年はスワンカフェをお借りして、ゆったり楽しい時間を過ごし親睦を深め委員一同「今年も皆様に情報をお伝えしましょう！」という気持ちをひとつにしました。



はばたき 20 新年会の様子

下さったことにも、本当に歴史を感じます。今回は紙芝居のえいちゃんにも加わっていただき、少し長めの豪華なイベントで皆さまを歓迎致しました。

こども対象には、へびの工作会と、記念缶バッジの釣り堀を開催。それぞれ沢山の子どもたちが参加してくれました。一日を通して、お祝いムードに溢れた図書館を挙げてのイベントを開催出来ましたこと、改めて皆さまには感謝致します。今後も今の位置に甘える事なく、さらに皆様に喜んでいただける図書館を目指して、日々精進していく所存でございます。地域の図書館としての役割も多種多様となつてきております。時代ニーズに沿った、皆さまを繋げていけるような、そんな図書館であつたら嬉しい限りです。羽田図書館があなたの居場所でありますように、そんな思いを胸に三十一年目を走り抜けて参ります。

（羽田図書館 館長 凍田）



イベントの様子

「西町町会防災訓練と 防災倉庫の見直し」

昨年十一月二十四日(日)に西町町会防災訓練を大師橋下広場で総勢二百名にて実施しました。四班に分かれ①起震車・煙体験②消火器・三角巾訓練③応急救護・④使用方法④防災展示品見学とポンプ車・発電機の始動実験など順次回リ積極的に参加して頂きました。また訓練に先立ち防災倉庫内備蓄品の確認と入れ替え、表示に整理整頓を行いました。今後の課題とした各棚のレイアウトや安全な昇降方法と、一時避難場所として備蓄品の適正数量など創意工夫が必要だと感じました。訓練にあたり蒲田消防署、第四分団、町会関係者の皆様ご協力ありがとうございました。

(西町町会 防火・防災部
部長 村石 則夫)



防災訓練の様子

「大鳥居町会 もちつき大会」

昨年十二月一日(日)真つ青な空のもと羽田一丁目児童公園で餅つき大会が開催されました。十二月とは思えない暖かい日差しに誘われて大勢の人たちが集まりました。初めて杵を持った子も教えてもらいお餅つきができました。ゲームコーナーは子どもたちに人気です。スマートボールやけん玉を夢中になって遊んでいました。

婦人部の方々が作って下さった美味しい豚汁とあんこ餅やきなこ餅を頂きながらお話が弾みました。

幼い子供から高齢の方々まで世代を超えて、普段なかなか顔を合わせることのない町会の皆さんと楽しいコミュニケーションの場となりました。

(投稿 伊東 幸恵)



もちつき大会の様子

TOPICS

118号編集後記

さて、シニアクラブ・デジカメ科で区内の名所を撮るという企画があったのですが、森ヶ崎公園の近くで変な高速道路を見つけた。いつ使うのか分からずじまいです。知っている方居ますか？

本号が楽しく読んで頂けたのなら幸福です。

はばたき20編集委員

宮下 精二

※これについての回答

橋の名称は羽田可動橋です。

首都高湾岸線開通前の渋滞対策として平成初期に暫定的に整備しました。運河を航行する船舶などの通過のため可動式であることが特徴です。

現在、この橋をう回路として有効活用し、羽田トンネルを更新する計画を進めています。

(首都高速道路(株))



完成したたこ



たこ作りの様子



羽田空港トリビア 54

「信頼性の高い電源供給で航空の安全を守る」

今回は、羽田空港にある東京空港施設管理センター(東京管理センター)をご紹介します。東京管理センターは、北は青森から南は静岡までの18空港と43航空無線サイトを管轄し、航空無線機器や航空管制情報機器に安定した電源を供給するため、24時間365日、監視制御情報共有装置(MISE)という遠隔監視機器を使用して電源設備の運用・管理を行っています。電源設備の内訳としましては、非常用発電設備61台、無停電電源設備34セット(2台1セット)を運用・管理しています。

これらの電源設備は、自然災害などで電力会社からの電気供給が断たれた場合でも、72時間以上の安定した電源を自動で供給できます。また、航空無線機器などが必要とする電源品質を常時監視しており、電力会社側の電源が不安定な場合には、遠隔制御で発電機電源に切り替えて安定した電源を供給し、負荷設備の安定した運用を確保しています。最後に、東京管理センターでは、信頼性の高い電源を供給することで航空機の安全運航を支えています。

(東京空港事務所)

「世代を超えて声をかけあえる 町会を目指して」

二〇二四年から青少年部を発足させた仲羽田町会。子供会・青年会と連携し、十二月二十一日(土)にクリスマスワークショップを開催しました。小学校未就学児から高校生まで申し込みがあり、親御さんや町会・青年会の役員含め、総勢二十六名が参加。松ぼっくりやどんぐりを色とりどりのパーツで思い思いに飾る、世界に一つだけの作品づくり。最少の二歳児も、とっても上手に作れました。みんなで作品を見せ合った後は、町会長サンタから子供たちへのクリスマスプレゼントとして、キャンディレイの首飾りが贈られました。今回のイベントも計画中です。

(仲羽田町会

青少年部長 夏目 通伸)



クリスマスワークショップの様子

世界に一つの作品

「地震風水害対策(備えあれば患いなし)」昨年度は地震風水害対策について勉強会開催。

一回目、【風水害対策】各自の環境に合った「マイタイムライン」を作成、区の警報に従って事前に避難確認。

二回目、【避難問題】羽田小学校へは、地域住民の数%位しか避難できない為、高齢者の多くは自宅避難を余儀なくされる。その時の必需品や家族との連絡手段などを勉強。

三回目、【最新情報収集】孤独で何の情報も入らず不安な状況下が予想される。スマホを使つての情報収集の勉強。ソフトバンク様の協力を得て、スマホ操作と区とLINE登録を行う。(水や食料の配布日時、場所の情報収集、区の防災アプリをダウンロードし(避難場所や防災無線内容などの把握方法)を勉強しました。

(延べ参加人数八十七名)

(羽田第六寿会 会長 橋爪 正江)



勉強会の様子